

【株式会社フンドーダイ】食品ロス削減・リサイクルに向けた取組

<商慣習の見直し（賞味期限の延長、賞味期限表示大括り化の取組）>

- 賞味期限の延長を検討し、順次切替を実施
- 2022年2月製造分より、賞味期限表示を年月日→年月へ切替開始

<食品ロス削減・食品リサイクルの取組>

- 環境に配慮したエコボトルの採用
- 工場敷地内で定期的開催しているマルシェにてアウトレット品を販売
- 賞味期限が近くなった製品をフードバンクへ寄附
- 醤油粕や規格外味噌を飼料として畜産農家へ提供

賞味期限の見直し

- 賞味期限の延長を検討し、延長可能となった製品については順次切替を行なっています。
- 2022年2月製造分より、賞味期限の表示を年月日→年月への切替を開始し、現在までに約200品目の自社製品に関して表示切替が完了しています。

<年月日表示>

21.12.15



<年月表示>

22.12.AF

環境に配慮したエコボトルの採用

- 中身を最後まで使い切れる容器「スポッとエコボトル」を採用することで、内袋を取り出して絞り出すことができ、中身を最後まで使い切れるのでフードロス対策に。
- 分別も簡単で、リサイクルが可能です。



アウトレット品の販売やフードバンクへの寄附

- 自社工場敷地内で2ヶ月に1度開催しているマルシェでは、賞味期限が近くなったものや規格外品を地域住民の方々へ安価で販売しています。
- 賞味期限が近くなり出荷できなくなった製品の一部はフードバンクへの寄附も行なっています。



副産物の有効活用

- 醤油製造の副産物である醤油粕は粉砕して牛の飼料に。長期熟成で色が濃くなってしまった規格外味噌も飼料として畜産農家へ提供しています。

